

4 財政状況等

資本金 (基本財産)	5,500 千円	本市出資等額	4,750 千円	本市出資等割合	86.3 %
主な出資等者					
① 盛岡市			(出資等割合	86.4 %)	
② 新岩手農業協同組合			(出資等割合	9.1 %)	
③ 岩手中央酪農業協同組合			(出資等割合	3.6 %)	
④ 盛岡商工会議所			(出資等割合	0.9 %)	
⑤			(出資等割合	%)	
平成29年度における当市の財的関与の状況	補助金	0 千円	(収入全体の	%)	
	負担金・交付金	0 千円	(収入全体の	%)	
	委託料	0 千円	(収入全体の	%)	
	指定管理料	9,184 千円	(収入全体の	7.2 %)	
	貸付金	0 千円	(収入全体の	%)	
補助金内訳					
①		(平成29年度予算額		千円)	
②		(平成29年度予算額		千円)	
③		(平成29年度予算額		千円)	
負担金・交付金内訳					
①		(平成29年度予算額		千円)	
②		(平成29年度予算額		千円)	
委託料内訳					
①		(平成29年度予算額		千円)	
②		(平成29年度予算額		千円)	
指定管理料内訳					
① 盛岡市総合交流ターミナル指定管理料		(平成29年度予算額	9,184	千円)	
②		(平成29年度予算額		千円)	
③		(平成29年度予算額		千円)	
貸付目的	(貸付金がある場合記入)	利用料金対象施設	(利用料金制を採用している施設がある場合記入)		
		盛岡市総合交流ターミナル(ユートランド姫神)			
		利用料金収入(平成29年度予算額	117120	千円	
		法人の収入全体の	92.7	%	

5 指定管理者となっている公の施設(現在、公の施設の指定管理者となっている団体のみ記入)

施設の名称	盛岡市総合交流ターミナル(ユートランド姫神)
-------	------------------------

6 法人の経営内容の詳細

(1) 取組目標

指標名	単位		平成26年度	平成27年度	平成28年度
① 売上目標	年	計画	111,200	114,250	121,000
		実績	109,620	113,405	117,246
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
④		計画			
		実績			

※ 1 中長期計画等を策定している場合、計画に盛込まれている目標等を記載してください。

2 中長期計画等を策定していない法人で、毎年度の目標等を設定している場合は、その目標等を記載してください。

3 毎年度の目標等を設定していない場合は、法人の活動が具体的に数値として表れるものを記載してください。

(2) 経営状況

(単位:千円, %, 人)

区 分		平成26年度	平成27年度	平成28年度
収支の状況	売上高(A)	109,642	113,405	117,246
	売上総利益	87,489	91,874	95,356
	販売費・一般管理費(B)	105,661	103,796	106,160
	営業利益	▲ 18,171	▲ 11,921	▲ 10,803
	経常利益(C)	▲ 17,386	▲ 11,766	▲ 10,082
	税引前当期純利益	▲ 17,386	▲ 11,766	▲ 10,122
	当期純利益	▲ 17,571	▲ 11,951	▲ 10,307
財産の状況	資産(D)	33,470	22,131	11,478
	うち流動資産(E)	32,083	21,032	10,614
	うち固定資産	1,387	1,099	864
	負債	12,448	13,059	12,715
	うち流動負債(F)	12,448	13,059	12,715
	うち短期借入金(G)			
	うち有利子負債(H)			
	うち固定負債			
	うち長期借入金(I)			
	うち有利子負債(J)			
	純資産	21,023	9,072	▲ 1,236
うち資本金(K)	55,000	55,000	55,000	
うち剰余金(L)	▲ 33,977	▲ 45,928	▲ 56,236	

区 分		平成26年度	平成27年度	平成28年度
組織の状況	常勤役員数(M)		0	0
	うち本市OB		0	0
	うち本市派遣職員		0	0
	職員総数(N)	26	26	29
	うち常勤職員数	26(6)	26(6)	29(8)
	うち本市OB	0	1	1
	うち本市派遣職員	0	0	
	うち管理職員数	1	1	1
	常勤役員比率(M/総役員数)			
	管理職員比率	3.8	3.8	3.4
職員新規採用数	0	0	0	
うち常勤職員数	0	0		
経営指標	売上高経常利益率(C/A)	▲ 15.8	▲ 10.4	▲ 8.5
	販売費・一般管理費比率(B/A)	96.3	91.5	90.5
	流動比率(E/F)	257.7	161.0	83.4
	借入金依存度((G+I)/D)	0.0	0.0	0.0
	自己資本比率((K+L)/D)	62.8	40.9	-10.7
	有利子負債比率((H+J)/(M+N))	0.0	0.0	0.0
	職員一人当たり売上高(A/(M+N))	4,217	4,361	4,042
本市の財政的関与等の状況	補助金額			
	①			
	②			
	③			
	負担金・交付金額			
	①			
	②			
	委託金額			
	①			
	②			
	上記のうち再委託額			
	上記業務の委託契約方法			
	指定管理料		384	
	① 燃料費変動に伴う指定管理料		▲ 1,479	
② 水道料金値上げに伴う指定管理料		1,863		
③ 電気料金値上げに伴う指定管理料				
貸付金額				
損失補償額				
債務保証額				
平成28年度決算の概要				
<p>売上高は、特にクアハウス部門で6月1日から入浴料金の100円アップ、利用者減少防止に向けた特別回数券の販売を2箇月実施したことにより、大幅な売上増となり前年度対比3,841千円増の117,246千円となった。一方経費面では、水道の従量区分変更による料金の削減など日常的に経費節減に取り組んだことから給与関係を除いた経費は2,000千円減少した。しかし、県の最低賃金改定などにより人件費が増加となり前年度対比2,300千円の増額となった。以上のことから平成28年度当期順損失は前年度より1,643千円少ない10,307千円となった。</p>				

7 所管課による財務状況についての点検評価結果

D	A:良好, B:概ね良好, C:改善を要する, D:大いに改善を要する
<p>(コメント)当該出資法人は、赤字決算が常態化しているが、28年度売上高が営業努力により改善が見られ、営業等の工夫により収入面での改善は可能な状況と判断される。支出の面では節減意識の高まりから削減の効果が現れているものの限度があり、人件費では、最低賃金の見直しなどによる増加など削減ができないものもある。このことから長期の安定した経営に向け、中長期の経営改善に向けた計画を策定し、職員配置の適正化など実施しつつ、施設の特異性を考慮し経営が安定するまでは、指定管理料の継続が必要と考える。</p>	

※参考(別紙フローチャートによるチェック)

番号	質問	チェック欄	
		はい	いいえ
1	平成27年度決算において黒字である。		○
2	平成28年度決算において黒字である。		○
3	累積欠損金がある。		○
4	平成28年度決算において減価償却前黒字である。		○
5	事業計画どおりの償却前赤字である。		○
6	概ね3年以内に単年度黒字可能である。	○	
7	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%未満である。		○
8	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%～100%である。		○
9	累積欠損金があるが、対自己資本比率は100%超である。	○	

